

『いわての森林づくり県民税』を ご存知ですか？

私たちの暮らしに大きな恵みをもたらす森林を、良好な状態で次の世代に引き継ぐため、平成18年度に「いわての森林づくり県民税」が導入されました。皆様からご負担いただいている「いわての森林づくり県民税」は、より良い森林づくりのために活かされ、豊かないわての森林を、県民みんなで支える取組として進められています。

また、「第15回いわての森林の感謝祭」にもいわての森林づくり県民税が活用されています。

いわて環境の森整備事業

公益上重要でありながら、手入れの行き届いていない森林において針葉樹と広葉樹の混交林化を進める間伐や、更新が図られていない伐採跡地において植栽を実施するなど、元気な森林に戻す取組を進めています。



遠野市宮守町下鱒沢

いわて森のゼミナール

児童生徒をはじめ広く県民の方々を対象に、森林・林業に関して学習する機会を提供するため、森林環境学習会や指導者研修会の開催などを行っています。



県民参加の森林づくり促進事業

地域住民やNPO団体などが主体的に取り組む、森林を守り育てる活動や森林づくりに対する意識の醸成を目的とした活動などを公募し、支援しています。



事業評価委員会の 設置・運営

いわての森林づくり県民税を大切に活用するため、事業についての評価・検証などを行う第三者機関として、事業評価委員会を設置・運営しています。

お問い合わせ

最寄りの広域振興局等の林務担当課または県庁林業振興課
(☎019-629-5775 / ✉AF0010@pref.iwate.jp)まで



緑の募金

第15回いわての森林の感謝祭実行委員会事務局

Tel : 0197-72-8237(内線3323) / FAX: 0197-64-2171

〒024-8501 岩手県北上市芳町1番1号 北上市農林部農林企画課

第15回いわての森林の感謝祭実行委員会

構成：岩手県、北上市、(公社)岩手県緑推進委員会、北上市森林組合、北上市教育委員会



いわての森林づくり
県民税
SINCE 2006

第15回

いわての 森林の 感謝祭



第73回 全国植樹祭
いわて2023 2周年記念

主催 岩手県、北上市、公益社団法人岩手県緑化推進委員会
協賛 岩手県企業局、岩手県森林組合連合会、北上市森林組合
後援 (株)岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、河北新報社、産業経済新聞盛岡支局、日本経済新聞社盛岡支局、(有)岩手林業新報社、(一社)共同通信社盛岡支局、時事通信社盛岡支局、NHK盛岡放送局、(株)IBC 岩手放送、(株)テレビ岩手、(株)岩手めんこいテレビ、(株)岩手朝日テレビ、(株)エフエム岩手、北上ケーブルテレビ

開催趣旨

北上市は、岩手県の内陸中部、北上平野のほぼ中央に位置し、東西約38km、南北約34km、総面積は437.55㎢です。森林面積は24,842haで、市総面積の57%を占めており、そのうち国有林が72%、民有林が28%です。

市の東部には北上高地、西部には奥羽山脈が広がり、夏油温泉周辺は栗駒国立公園の一部として、豊かな自然に囲まれています。また、両山地の中間部には北上平野が広がり、市街地および工業団地が整備されています。平野部の東端を流れる北上川は南流し、秋田県境付近から和賀川が東に流れ、北上川に合流しています。

私たちは、この豊かな森林という財産を守り、育み、次世代を担う若者たちへと確実に継承していく責任があります。改めて、森林がもたらす恩恵に感謝するとともに、林業の成長産業化に向けた取り組みを広く市民や次世代を担う子どもたちへ伝え、森林に対する県民の理解を深めることを目的として、第15回いわての森林の感謝祭を開催するものです。

式典【10:00～11:15】

◆開会のことば	(公社)岩手県緑化推進委員会理事長	中 崎 和 久
◆主催者あいさつ	岩手県知事	達 増 拓 也
◆歓迎のことば	北上市長	八重樫 浩 文
◆感謝状贈呈	森林整備功労者知事感謝状	
◆来賓紹介		
◆苗木の引き渡し	東桜小学校(エドヒガン)	
◆緑の誓い	北上さくらの会「つぼみ会」	
◆全国植樹祭開催記念盾の引継ぎ	北上市長、久慈市長	
◆次期開催地あいさつ	久慈市長	
◆記念アトラクション	上野中学校 原頭太鼓部	
◆記念植樹、標柱建立	記念植樹樹種：エドヒガン	
◆閉会のことば	北上市森林組合 代表理事組合長	三 浦 啓 一

一般植樹【11:30～12:15】

会場:北上市憩いの森(北上市稲瀬町岩脇内)

森林整備功労者知事感謝状

森林整備功労者知事感謝状は、森林整備の推進や地域の林業振興への貢献などに対し、顕著な功績があった方に贈呈されます。

菅野 正幸 様

昭和42年に設立された北上市口内地区草刈場団地の初代代表である父親の跡を継ぎ、昭和44年から2代目代表に就任し、地域の農林家へ積極的に造林を働きかけ、北上市口内地域の森林整備の推進に尽力しました。

長年にわたり北上市森林組合の役員を務めており、昭和62年から3年間は代表監事、平成27年から6年間は筆頭理事を歴任するなど、地域林業の中核を担う森林組合の健全な経営を通じて、地域の森林整備を支えてきました。

このほか、平成9年から平成30年までは、県の職業訓練指導員として、北上職業訓練校で建築大工の指導を行うとともに、平成3年から現在まで、北上市有林野運営委員として市有林の管理運営にも携わっており、様々な立場で地域の森林・林業の振興に大きく貢献しています。

西間 薫 様

昭和43年に岩泉町内に西間林業を創業し、以来、国有林及び民有林において、広葉樹を中心とした素材生産を中心に行い、地域林業の発展に取り組んできました。

高性能林業機械の操作、チェーンソー操作及び路網作設の技術指導者として、その指導力が高く評価されており、長年に渡り県が主催する専門家技術派遣事業の講師や路網作設オペレーター講師を務め、丁寧に現場技術を伝授してきました。また、「緑の雇用」のフォレストワーカー研修をはじめ、国及び林業関係団体が開催する各種研修や、県が平成29年度に開講した「いわて林業アカデミー」においても、現場講師として熱心な指導を行うなど、本県の森林整備を担う若手林業技術者の育成に大きく貢献しています。